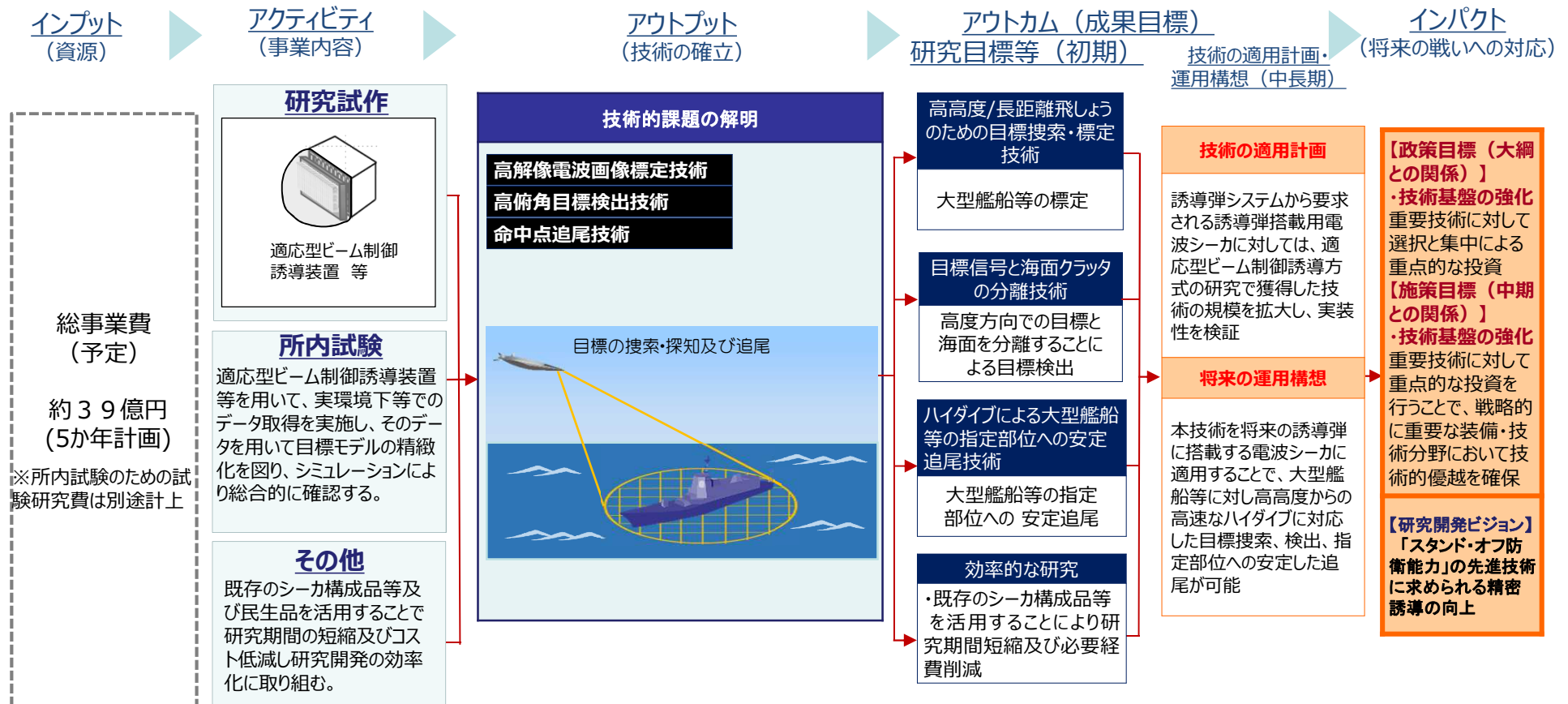


適応型ビーム制御誘導方式の研究

洋上の大型艦船等に対して、高高度から高俯角で対処可能な将来の誘導弾に搭載する電波シーカを実現するため、大型艦船等の目標を標定し、洋上における高海面クラッタと目標を分離・検出した後に、目標の命中点へ誘導する技術を確認するものである。

現状・課題

将来のスタンド・オフ防衛能力の強化において、我が国島嶼部への攻撃に際してその周辺海域に侵攻する大型艦船等に対し、高速・高高度/長距離飛しょうする将来の誘導弾により対処するため、研究開発ビジョンに示す将来防衛省が獲得すべき技術である精密誘導技術に関連する、電波誘導による全天候性に優れた高精度追尾を可能とする技術を確認する必要がある。



<研究開発実施線表>

年度	令和4年	5	6	7	8	9	10
実施内容		本事業 (研究試作)					所内試験

総合評価

近年、島嶼部を含む我が国への侵攻を試みる艦艇等への対処として、スタンド・オフ防衛能力を確保する重要性は増しており、将来の誘導弾に搭載する電波シーカの実現を目指した本研究は、研究開発ビジョンに挙げているスタンド・オフ防衛能力に必要な精密誘導技術を獲得する取組にも合致しており、その必要性は理解できる。

また、既存品及び民生品を積極的に活用することで、研究期間の短縮及びコストの抑制に努めていることは評価できることから、本事業に着手することは妥当であると判断する。